

# みよし市 スポーツ推進委員だより



2017. 2. 15  
No.039

発行・編集／みよし市スポーツ推進委員会 〒470-0224 みよし市三好町池ノ原1 三好公園総合体育館内  
URL: <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/sports/taikusidouin.html>  
TEL: (0561)32-8027

## ① 第57回全国スポーツ推進委員研究協議会福井大会 : 28年11月17日(木)・18日(金)

第57回全国スポーツ推進委員研修協議会・福井大会に、みよし市スポーツ推進委員委員長・松波委員長が参加しました。地域スポーツのコーディネーターであるスポーツ推進委員が、果たすべき新たな役割や活動の方向性等について、全体会としてのシンポジウムをはじめ、4つの分科会で研修協議が行われました。



第1日目に「ペップ(PEP)トーク 励ましの言葉」と題し、岩崎義則さん(いわさき よしのり)、バルセロナ女子バレートレーナー、アスレチックトレーナー、日本ペップ協会会長の講演が行われました。ワールドカップ女子サッカー2011年のドイツ大会では「復興支援のために、毎回勝とう」とキャプテンの澤穂希(さわほまれ)選手が言っていた。

決勝戦で今まで一度も勝てずアメリカに負けていましたが、澤選手の奇跡的なボレーシュートが入り同点となり、

PK戦となり佐々木紀夫監督は、シュート外すな、ミスするな、絶対に負けるなどとは言わず、「思いっきり楽しんでこい」と、ひと事いったそうです。この前向きな言葉、ひと押しを『ペップトーク』と言います。

監督は言葉の力を磨いて来ている。言葉に命を吹き込めない者、言葉にパワーを与えられない者は、ここアメリカでは指導者になれないと話している。

立命館大学のアメリカンフットボールの監督が実業団の松下電工との試合で、マスコミは全社松下電工の方が強いと書き立てた。立命館大学の監督は、「マスコミが勝手に書いているだけ、おまえ達はそれくらいの力は持っている、おまえ達なら出来るこのチームで最後の最後まで頑張っていこう」と言いました。選手の皆さんが身につけた、知識・体力・経験すべてを俺は認めている、その思いのあらわれです。シンプルな言葉で、短く、わかりやすい、ネガティブな言葉は使わない。肯定的な言葉を使い魂をゆさぶる、人をその気にさせる、スピーチ。これが、『ペップトーク』です。長くて、わかりにくくて、めちゃくちゃマイナスの言葉を使い選手のやる気をなくす、これは怖い説教です。

野球界では「思いっきり楽しんでこい」なんて言わない。「おい、コラ、負けたら走らせるゾー」選手は負けたらいつも練習しているグラウンドにもどり、走る姿を思いながら試合に望むのです。

私が、「ピンクの象をイメージしないでください。」と言うと皆さんは、イメージしだすんです。ミスをしてしないでくださいと言うのとおなじです。

今日はきれいだね。 今日きれいだね。一字だけの違いで、相手の受ける印象が変わってきます。オリンピックのバトミントンの試合で高松ペアは、負けに近い状態のとき「こういう時は自分たちの方が強い」と考えたそうです。ポジティブな表現を使う思考は現実化する。 して欲しいことを伝える。 成功や勝利をイメージさせる。

これがポジティブ語日常生活の例「お風邪などおめしになりませぬように」をして欲しいに変換「暖かくお過ごし下さいませ」。

社会生活の例「駆け込み乗車はお止め下さい」「ホームはゆっくりお歩き下さい」。この講和を聞いた後、スケートの羽生結弦(はにゆうゆづる)選手が演技の直前に何かを言っているのに気づきました。羽生選手は「出来る、出来る、出来る」とつぶやいていました。なりたいたい自分になれるセルフペップトーク自分で成功へのスイッチを入れている。

受験生を前に、落ちるとか滑るとは言わない。今から大事な試合に向かう選手に対して、負けるな！とかミスするな！など後ろ向きなネガティブな言葉は使わない、前向きな言葉をかけましょう。

2ページに続く

第2日目は、第3分科会に参加しました。テーマは「障害者と垣根を越えたスポーツライフ」で、高知県一般社団法人Uプロジェクト、新潟県障害者スポーツ協会、滋賀県野洲（やす）市スポーツ推進委員協議会の発表がありました。高知県のUプロジェクトは、職業としてお金をいただきながら、体操教室、放課後のデイサービス、自然体験活動（夏は海、山へ、冬はｽｰ）を企画し職業として確立していく話。新潟県障害者スポーツ協会は、市町村のスポーツ行政、関連団体（総合型スタッフ、スポーツ施設職員学校教員、福祉施設職員）と協力し実行委員会をつくり活動している話。滋賀県やす市スポーツ推進協議会は、健常者も障がい者も参加した行事の紹介があり、スタートは、障害者スポーツ指導者初級の資格を取ることからスタートしている。最近で大学と連携している。「よそ者・若者・ばか者」よそ者とは、福祉分野、スポーツ分野のわからない人が視点の違いから新しい発見へ。若者とは、若さというエネルギー、大学、専門学校、高校とタイアップできないか。ばか者とは、熱意をもって、真剣に打ち込む人が周りの人を変えるでしょう。



## ② 第9回みよし市レクリエーションスポーツフェスタ2016 : 28年12月17日（土）三好公園総合体育館

暖かい日差しの中、80名の小さいお子さんからご年配の方々に参加して下さいました。種目はカローリング、キンボール、みよし鬼ごっこ、フラバール。スポーツラリーでは風船ダーツ・ディスクッター・輪投げ・室内ベタンク・ラダーゲッター・シャフルボードが行われました。

今回から取り入れた球技「フラバール」は、使用するボールの形が変型をしているもので、不意の動きにドキドキしながらもバレーボールの様にパスをつなげていくもので、楽しそうに子どもたちがプレイしていて『おもしろかった!』とたくさんの声を聞く事が出来ました。幅広い年齢層に楽しんでもらえるように本ルールより優しいみよしルールで行っています。

最後になりましたがスポーツイベントボランティアの方、三好高校サッカー部の生徒さん、先生方、お手伝いありがとうございました。そして、スポーツフェスタで『こんなスポーツがやってみたい!』などのご要望をお待ちしております。



## ③ みよし市・東郷町スポーツ推進委員研修交流会 : 28年12月18日（日）東郷町総合体育館アリーナ

東郷町総合体育館アリーナで行われた研修交流会。東郷町スポーツ推進委員さんからは「夢ボール」、みよし市からは「フラバール」を紹介、体験しました。どちらの競技もボールを使い、バレーボールとほぼ同じルールです。「夢ボール」のサーブは足でキックして行うもので、蹴りすぎても蹴りが弱くても、上手くコートに入らずコントロールが必要でした。東郷町、みよし市スポーツ推進委員混合チームを作り各チームと対戦。チームワークを発揮し全勝したチームもあり、時間が足りなくらい楽しい研修交流会を行う事ができました。

